前期 第１回 実験報告（実験日：R6年4月9日）　名列番号：38　氏名：宮里 孝希

第１回　実験環境の動作確認

1.sample.zipフォルダをテスクトップ上にコピーして解凍する．

2.sampleフォルダ内のsample1.sce（Scilabのプログラム）をダブルクリックして，Scilabが起動される．

3.Scilabの画面、sample1.sce（スクリプト）の画面をレポートとしてコピーする．

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト

自動的に生成された説明

Fig. 1 Scilabの画面

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

Fig. 2 sample1.sce（スクリプト）の画面

4.sample1.sceを実行した結果（グラフ表示）をコピーする．

グラフ

自動的に生成された説明

Fig. 3 sample1.sceの実行結果（グラフ表示）

5. 続けて、sample2.zcosをダブルクリックして、sample2.zcos（ブロック線図）の画面をコピーする．

ダイアグラム

自動的に生成された説明

Fig. 4 sample2.zcos（ブロック線図）の画面

6.sample2.zcosを実行した結果（グラフ表示）をコピーする．

グラフィカル ユーザー インターフェイス, グラフ, 折れ線グラフ

自動的に生成された説明

Fig. 5 sample2.zcosの実行結果（グラフ表示）

7.sample3フォルダのsample3.ino（Arduinoのプログラム）をダブルクリックして，Arduinoの開発環境を起動する．

8.sample3.ino（Arduinoのプログラム）の画面をコピーする．

モニター画面に映るウェブサイトのスクリーンショット

自動的に生成された説明

Fig. 6 sample3.ino（Arduinoのプログラム）の画面

9.コンパイル「検証」を実行して，正常にコンパイルできることを確認して，その表示をコピーする．

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, Web サイト

自動的に生成された説明

Fig. 7 コンパイル処理結果